

中学校と連携した取組事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：安芸高田市

事業の目的

・ミツマタは和紙(特に紙幣用紙)の原料として、古くから栽培されてきた。しかし、最近では大量生産が容易な西洋紙に市場を奪われ減少傾向を続けている。このため、我が国固有の良質な製紙原料であるミツマタの生産を復活させる植樹を行う。

甲田の地において、卒業証書用紙や紙幣用紙に活用する和紙を生産するミツマタを協働で植樹する活動を通して郷土を思い、夢を育み、向上する人づくりを目指す。

取組の内容

- ・事業主体：甲田町資源を守る会
- ・共催：安芸高田市
- ・協力：公益財団法人 日本レスリング協会
広島県レスリング協会
- ・実施場所：安芸高田市甲田町
- ・業務金額：300,000円
- ・事業量：甲田中学校1年生30名
- ・日時：令和3年3月17日

・甲田中学校生徒により、和紙原料となるミツマタ苗木200本を協働で植栽する。
・山鍬やスコップで植穴を掘り、苗木を植え、根元を踏み固め、竹支柱を立て、給水をする。
将来的には6haの山林にミツマタを植栽し、広島県最大の一大群落を目指し計画を進める。

今後の展開

・元気な森を次世代に残していくため、ニホンジカの食害にあわない樹種であるミツマタを中心に、地元中学校と連携し毎年植栽を行い、広島県最大の一大群落を目指し計画を進める。

取組の感想

【良かった点】

- ・植樹会を通じて、森林の大切さや維持していく上での大変さを学んでもらった。
- ・この日行ったイベントの感想や思いを全員レポートにして中国新聞「ヤングスポット」のコーナーへ投稿をした。



地域住民等と連携した取組事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：安芸高田市

事業の目的

・山頂から眼下に広がる雑木林は、ここ何年もの間手が入らず、うっそうとした状態で放置されてきているため、かつての景観が損なわれてきており、素晴らしい地域資源であるにも関わらず、充分活用がされていない。

・そのため、地元住民団体や、観光協会等で組織する団体を立ち上げ、ひろしまの森づくり事業を活用して森林整備を計画し、山頂及び登山道周辺の森林整備、迂回ルート新設、案内板の設置などに取り組んでいく。これまで以上に、通年で多くの登山客が訪れてもらえるような鷹ノ巣山に整備し、これからも地域の宝として守っていく。

取組の内容

- ・事業主体：鷹ノ巣山整備実行委員会
- ・業務金額：990,527円
- ・事業量：看板設置
パンフレット作製

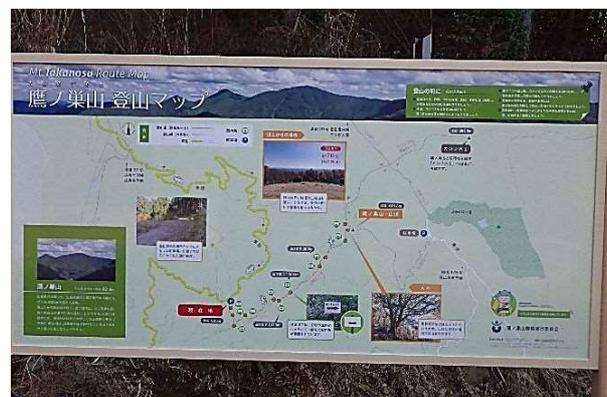
・取組最終年度となる令和2年度は、より安全に登山ができるよう案内看板の設置、また、パンフレットを作成し市内各所の観光施設に配置した。

今後の展開

・3年間で森林整備2ha、登山道整備400m、県産材を利用した案内看板標識の設置、簡易休憩施設等の整備を行い、事業実施後は、組織した実行委員会等を中心に維持管理と地域資源活用に取り組んでいく予定である。

取組の様子

【設置看板】



地域住民等と連携した取組事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：安芸高田市

事業の目的

・荒廃している森林を整備し隣接している空き家を活用しながら、レクリエーション感覚で山林の良さを楽しめる「里山会所」として整備することで、山林資源の利用、山林特性の理解、山林への親近感の醸成などを里山体験を通じて山林への理解を深める。

取組の内容

- ・事業主体：NPO法人百華倶楽部
- ・実施場所：安芸高田市甲田町
- ・業務金額：4,689,783円
- ・業務内容：歩道の整備、下刈り、除伐、炭窯設置、簡易休憩所の整備、ベンチ等の設置

・今年度は、活動拠点となる施設周辺の下刈りや除伐を実施し、炭窯や簡易休憩施設の設置を行った。

・また、「森のあそび場すつくすく」と連携し森林・林業体験会を4回実施し、延べ66人の参加があった。

今後の展開

令和3年度は、引き続き歩道整備や利用者の安全を確保するため、下刈りや除伐を実施し、森林・林業体験会を実施する。

取組の様子

